

高校生考案「サンタのつぶやき」販売 札幌のフェスで

2023/09/23 11:48



販売ブースで「サンタのつぶやき」をPRした高校生（磯野さん提供）

【広尾】広尾高校の生徒が考案した、広尾町の食材を使った新メニュー「サンタのつぶやき」が今月初旬、札幌市内で開かれた食のフェアで販売された。130個を売り上げ、関係者は新たな「ご当地グルメ」として普及する手応えをつかんだ。

タコの代わりに地場産のツブ貝を入れた、タコ焼き風の商品。生地にはコンブの粉末加工品を練り込んでいる。町地域おこし協力隊による特産品開発の一環で、広尾高校の「フードデザイン」を履修する生徒たちが開発に協力した。

商品は、町観光協会などが出店した「地域特産品フェア」（1～3日、札幌市テレビ塔）でデビュー。メニューの最終案が採用された同高3年の木本楓花さん、田中蘭さんの2人が売り子として参加した。



人気だった「サンタのつぶやき」

100個（1個500円）の販売を予定したが、最終的に想定を上回る売り上げに。「タコ焼きと違い新鮮」「コンブ風味の生地がおいしい」などと評判だった。

地域おこし協力隊の磯野巧さんは「高校生にとって、よい経験になったようだ。今後、地元で開かれるイベントでも提供し、少しずつ定着させたい」と話している。（能勢雄太郎）